

(様式2(1))

事業所名: グループホームうみのほし魚崎

目標達成計画

作成日: 平成 28年 4月 8日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先 順位	項目 番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に 要する期間
1	6	○虐待の防止の徹底 日常の中での不適切なケアの防止、日頃からの言葉掛けについて慣れ合いになっており節度が越えている事がある。	アットホームな環境では有るが、その環境に甘えず利用者は職員にとって尊厳のあるお客様という事を念頭においてケアが出来るようになる。	入職した職員に対しても研修を行う。 また職員間でも注意できる環境をつくる。 気になる職員については個別で対応して行く。 (職員の疲労やストレスについてもフォローしていく)	6ヶ月
2	8	○権利擁護に関する制度の理解と活用 過去において後見人制度を活用していた方がいたが現在いないため、必要時に的確な知識、アドバイスができるか不安。	常勤・正規職員以上には制度の知識は必要と感じています。よりの確な助言により制度活用につなげたい。	研修の実施。外部・内部にかかわらず正規職員から順に研修参加してもらう。	1年
3	35	○災害対策 年二回の避難訓練を実施している。また、地域の防災訓練にも参加していて、有事の際の協力体制は出来ている。東北大震災後、避難場所の変更と備蓄食等の見直しが必要。	津波対策としての避難場所については施設屋上になる予定。屋上に備蓄食、トイレなどの設置も視野に入れて新たなマニュアル作りを行う。	現在夜間想定の実施が出来ていないので今年度内に実施予定 施設向けの研修参加や、防災用品の購入。 また地域の避難訓練にも参加し、地域との連携も模索して行く。	6ヶ月
4					月
5					月